

科目名		授業形態		担当教員名	
解剖学		講義		堀江 登	
時間数（単位数）		授業回数		年次	
60 時間（ 2 単位）		30 回		1 年次	
開講時期					
前期					
授業の目的・概要					
人々は紀元前の昔から人体を客観的に観察しようと試みてきました。このことが、解剖学のはじまりです。解剖学の歴史にはじまり、現代の最先端技術を駆使した客観的観察から明らかになった、人間の“からだ”の仕組みについて理解する。					
授業の到達目標					
人間の“からだ”はどんな仕組みになっているのか要約する。					
授業計画					
回	内容		回	内容	
1	解剖学基礎（からだの組成、解剖学の歴史、からだの区分、表現用語など）		16	消化器系（胃と腸の構造と機能など）	
2	解剖学基礎（ヒトのからだの構成単位、体腔と臓器など）		17	消化器系（肝臓、胆のう、膵臓の構造と機能など）	
3	筋骨格系（全身の骨格、骨と筋肉の構造など）		18	呼吸器系（呼吸器系の概要、鼻・口の構造と機能など）	
4	筋骨格系（全身の骨の数、骨の外形分類など）		19	呼吸器系（のど、胸部内臓の構造と機能など）	
5	筋骨格系（頭蓋骨、脊椎、胸郭の骨と筋肉の筋肉の構造など）		20	呼吸器系（肺の構造と呼吸機能など）	
6	筋骨格系（関節の構造など）		21	泌尿器系（泌尿器系の概要、腎臓の構造と機能など）	
7	循環器系（循環器系の概要、血管の構造など）		22	泌尿器系（尿のできるしくみなど）	
8	循環器系（血液の成分と全身の血管の概要など）		23	泌尿器系（尿管、膀胱、尿道の構造と機能など）	
9	循環器系（頭頸部の血管の概要など）		24	内分泌系（内分泌系の概要、ホルモンの種類と作用など）	
10	循環器系（免疫のしくみ、リンパ管・リンパ組織のしくみ）		25	神経系（中枢神経と末梢神経、神経伝達のしくみなど）	
11	循環器系（心臓の構造と機能など）		26	神経系（脳、脊髄神経など）	
12	循環器系（心臓の血管、乳房の構造と機能など）		27	神経系（運動神経と知覚神経、自律神経など）	
13	消化器系（消化器系の概要、消化と吸収、消化管の運動など）		28	神経系（大脳の構造と機能など）	
14	消化器系（腹腔内臓器と腹膜後器管の位置と構造など）		29	神経系（小脳、脳幹の構造と機能など）	
15	確認試験、解説		30	神経系（視・聴覚器の構造と機能など）	
成績の評価法と基準					
種別	割合	評価基準・その他備考			
定期試験	100%				
レポート					
小テスト					
平常点					
その他					
自由記載					
教科書					
書名	著者・編集者名		出版社名		
ぜんぶわかる人体解剖図	坂井建雄、橋本尚詞他著		成美堂		
ネッター解剖学アトラス原書第6版	Frank Netter		南江堂		
解剖トレーニングノート第6版	竹内 修二		医学教育出版社		
自由記載					
参考文献					
書名	著者・編集者名		出版社名		
自由記載					
備考					